

令和5年度 第1回下野市地域公共交通会議 会議録

	令和5年6月22日（木）午後2時00分～午後3時10分
開催場所	下野市役所3階 303会議室
出席者	長田委員（会長）、真下委員、佐藤委員、山本委員、鶴見委員、原委員、山川委員、金清委員、一戸委員、平岡氏（上野委員代理）、滝田氏（横尾委員代理）、菊池氏、安生氏（滝田氏随員）、中田氏（星野委員代理）、細谷委員、荒井氏（塩田委員代理）、小堀氏（保坂委員代理）、荒川委員、鉢村委員、川中子委員
欠席委員	角田委員、小矢島委員、水元委員
傍聴者	下野新聞社 近藤氏

次第

- 1.開会
- 2.委嘱状交付
- 3.市長あいさつ
- 4.会長・副会長の選任
- 5.会長あいさつ
- 6.議題
  - (1) デマンド交通おでかけ号の利用状況報告について
  - (2) 地域公共交通確保維持事業に係る認定申請について
  - (3) その他
    - ① 広域連携ゆうがおバスの運行実績について
    - ② 交通事業者への燃料価格高騰対策支援について
    - ③ おでかけ号の予約キャンセル自動音声対応の実証実験について
    - ④ 自動運転バスの実証実験について
    - ⑤ その他
- 7.閉会

(事務局) ○開会

○委嘱状交付

代表して、宇都宮大学長田委員へ委嘱状を交付。

(坂村市長より長田委員へ委嘱状を交付)

(市長) ○市長あいさつ

皆様にはお忙しいなか、委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

現在、市では令和3年度から令和7年度の5か年計画で「下野市公

公共交通計画」を策定し、快適で利便性の高い公共交通サービスの推進に取り組んでいる。

デマンド交通「おでかけ号」については、これまで、運行エリアの見直しやA Iを活用した予約システムの導入、上三川町と壬生町との相互利用など、利用者ニーズに応じて利便性を拡充したことにより、また、運行事業者の努力もあって登録者及び利用者の増加が図られた。

今年度からはベビーカー、シルバーカー、車いすの持ち込みも、予約をしたうえで可能になったことで利便性が向上した。

利用者が増えたことで、必要としている方皆さんが利用できるかが今後の課題となっている。必要なサービスを供給することが重要と考える。

委員の皆様には約2年間、様々なご意見をいただきたい。

(市長退席)

(事務局) ○新委員紹介・職員自己紹介

○会長・副会長選任

会長 宇都宮大学 長田委員

副会長 下野市社会福祉協議会 角田委員 を選任

(長田会長) ○会長あいさつ

下野市地域公共交通計画の中間年ということで、交通会議の中で進捗状況を管理していきたい。

コロナが5類に移行し、利用者も増えることから、必要なサービスを供給できるかが重要となってくる。

委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、よりよいものになるよう努めていくのでご協力をお願いしたい。

(事務局) 資料確認

(長田会長) 議事録署名人選任

名簿No.2番 真下委員、名簿No.11番 平岡氏(上野委員代理)

なお、下野市地域公共交通会議条例第6条第2項の規定に基づき、出席者18名で会議成立。

また、下野市審議会等の設置運営要綱の規定に基づき、議事録は発言した委員名も含め、ホームページで公開する。

○議題1【デマンド交通おでかけ号の利用状況報告について】

- (長田会長) 議題1について、事務局より説明をお願いします。
- (事務局) デマンド交通おでかけ号の利用状況報告について説明(資料1)。
- (長田会長) 事務局から説明があったデマンド交通おでかけ号の利用状況報告について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
- (真下委員) 運賃改定の予定はあるか。
- (事務局) 現在のところ予定はない。
- (滝田氏) 新規登録者数が増加したが、広報活動などは行ったのか。
- (事務局) 市の広報誌で広報は行ったが、積極的には広報活動はしていない。相互利用の開始により、3市町で登録ができるようになったことが増加した要因かと思う。
- (原委員) 年齢別利用状況について、市内の年齢別の人口を記載すると利用者数(利用率)が分かるのではないか。
- (長田会長) 検討させていただく。
- (山川委員) エリア別利用者数で石橋だけが増えている要因はあるのか。
- (事務局) 運転免許証自主返納事業の申請者も石橋地区の方が多い。石橋地区は路線バスが通っていることもあり、免許証を返納しやすいのではないか。免許証を返納した方の移動手段のひとつとしてデマンド交通を利用されている方が多いのではないかと思われる。

- (長田会長) 市外登録者の住所はどこが多いか。
- (事務局) 上三川町が1番多く396人、次に壬生町が190人となっており、他は宇都宮市や小山市など、また県外の登録者も20人となっている。
- (長田会長) 時間帯別利用状況で、17時台が減っている要因は。
- (事務局) おそらく、以前は塾で使用している子が多かったが、令和4年度は10歳未満の利用者が減っていることもあり、塾に使用する子が減ったのではないかと思われる。
- (荒川委員) 全体的にこれまでコロナ禍で行動を自粛し、塾利用者などの子育て世代も自粛傾向にあったのではないか。  
コロナ禍であっても登録者、利用者が増えてきている。アフターコロナのなかで利用者が増えてくると、需給バランスが崩れ利便性が損なわれることを危惧している。  
高齢者の利用が午前中に集中し、午後は比較的余裕がある状況なので、今後の課題として、スムーズな運用について会議の中でも検討していただきたい。
- (原委員) 時間別の時間とは利用者が依頼した時間なのか、それとも、乗車した時間なのか。
- (事務局) 乗車した時間帯のこと。17時は17時台に乗車した利用者数を示している。
- 議題2【地域公共交通確保維持事業に係る認定申請について  
(採決事項)】
- (長田会長) 議題2について、事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 地域公共交通確保維持事業に係る認定申請について説明(資料2)。
- (長田会長) 事務局から説明があった地域公共交通確保維持事業に係る認定申請について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(長田会長) それでは、資料2について採決を行う。

～挙手多数～

(長田会長) 挙手多数ということで、この内容で国へ提出させていただく。

○議題3【その他 ①広域連携ゆうがおバスの運行実績について】

(長田会長) 議題3その他①の広域連携ゆうがおバスの運行実績について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 広域連携ゆうがおバスの運行実績について説明(資料3)。

(長田会長) 事務局から説明があったゆうがおバスの運行実績について委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

関東自動車の荒井委員から、補足等はあるか。

(荒井委員) コロナ禍中と比較すると、ゆうがおバスにかかわらずバスの利用客が戻りつつあるが、まだコロナ前と比較すると8割程度という状況。

ゆうがおバスについては、着実に利用客が増えており、石橋駅利用者の通勤、通院の方に利用されている。

電車との接続についても改善しつつ、利用しやすいよう調整している。

○議題3【その他 ②交通事業者への燃料価格高騰対策支援について】

(長田会長) 議題3その他の交通事業者への燃料価格高騰対策支援について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 交通事業者への燃料価格高騰対策支援について説明(資料4)。

(長田会長) 事務局から説明があった交通事業者への燃料価格高騰対策支援について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(鉢村委員) タクシー協会として市に支援の依頼したところ、対応いただきお礼を申し上げる。

タクシー業界はコロナ前と比較し9割程度戻ってきているが、本格的な改善は見られない。燃料高騰に加え、タイヤなどの物価も高騰して

いる。

現在、県内でもドライバーが不足している状況で公共交通機関としての継続が困難な状況であり、タクシー運賃値上げを申請している。

(長田会長) その他、皆様からご意見等はないか。

○議題3【その他 ③おでかけ号の予約キャンセル自動音声対応の実証実験について】

(長田会長) 議題3その他の③おでかけ号の予約キャンセル自動音声対応の実証実験について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) おでかけ号の予約キャンセル自動音声対応の実証実験について説明(資料5)。

(長田会長) 事務局から説明があったおでかけ号の予約キャンセル自動音声対応の実証実験について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

○議題3【その他 ④自動運転バスの実証実験について】

(長田会長) 議題3その他の④自動運転バスの実証実験について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 自動運転バスの実証実験について説明(資料6)。

(長田会長) 栃木県交通政策課より説明をお願いします。

(安生氏) 自動運転バスの実証実験の目的、これまでの成果、課題、実務関係者協議会について説明(資料6)。

(長田会長) 事務局と栃木県から説明があった自動運転バスの実証実験について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(真下委員) 実証実験の時期はいつごろか。

(安生氏) 12月から1月にかけて実施予定。

○議題3【その他 ⑤その他について】

(長田会長) 議題3 その他の⑤その他について、委員の皆様から何かあるか。

(荒井委員) 関東自動車のバスの運賃値上げを7月1日に予定していたが、実施時期は未定だが延期することになった。運賃改定の実施日が決定次第、情報を共有させていただき、周知をしていく。

(事務局) 今後、近隣市町との公共交通の連携について、委員の皆様の意見をいただき検討をしたい。

また、直近の市議会においても、近隣と連携した公共交通についての質問があったので、公共交通会議の中で、調査研究をしていきたいと考える。

(長田会長) 事務局から提案があった広域連携について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(真下委員) インターパークへの要望はあると思うので検討課題に入れていただきたい。

(長田会長) 今後、活発な議論ができればと思う。  
本日の議事は全て終了したので、進行を事務局にお返りする。

(事務局) 以上で本日の会議は終了とする。

○閉会

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長

署名委員

署名委員